

氏名	押野 修司	部署	作業療法学科	職名	講師
研究分野	発達期作業療法学・身体運動学				
学位	修士(リハビリテーション)				
学歴	1991年専門学校社会医学技術学院作業療法学科、2003年筑波大学大学院教育研究科、2017年首都大学東京大学院人間健康科学研究科単位取得満期退学				
経歴	1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師				
所属学会(役職)	日本作業療法士協会(事例登録制度A審査員)、埼玉県作業療法士会(機関誌編集委員)、特定非営利活動法人動物介在教育・療学会(理事)、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会(会計委員)				

### 【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	健康かみしばいのご紹介	共著	学術研究出版、43ページ	松尾彰久、南雲浩隆、押野修司、小池祐士、久保田富夫	2018年3月
2	iOS健康アプリ対応健康寿命を延ばすための18の習慣(学生版)	共著	学術研究出版、60ページ	松尾彰久、南雲浩隆、押野修司、小池祐士、久保田富夫	2018年3月
(2) 論文					
1	該当なし				
(3) 学会発表					
1	該当なし				
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間	
1	羽立工業株式会社 共同研究	健康づくり支援事業におけるヘルス・リテラシー向上支援に関する研究(研究分担者)		2017.7~2018.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	協調運動に困難を示す学童に対する伝承遊びの指導とその効果(研究代表者)		2016.4~2019.3	
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	発達期作業療法学(科目責任者:押野修司)	2017.4~7	定型発達(運動、認知、社会性、ADL)はを動画教材を併用し講義を行った。対象となる主な疾患および障害の定義、問題点、治療についてグループワークによるアクティブラーニングを行った。		
2	生活環境技術学(科目責任者:小池祐士)	2017.10~12	学生の視野を広げるため、グループワークにより、自助具デザイン、新規事業などを、学生の目線から発表するというアクティブラーニングを行った。		
3	小児保健看護学(科目責任者:健康開発学科口腔保健学専攻 佐藤玲子)	2018.1	小児期の成長発達の遅れを理解するために、小児期の障害と補助具の使用及び支援について講義を行った。		
(2) 演習					
1	臨床作業療法演習(科目責任者:中村裕美)	2017.11~12	学生が臨地実習に必要なADL指導(更衣)の演習とOSCEの1ブースの評価を担当した。		
2	生活環境技術学演習(科目責任者:小池祐士)	2017.12~2018.1	コミュニケーション分野の支援技術、WindowsOSのアクセシビリティ機能の実習、コミュニケーションボードの作成を行う。		
3	卒業研究ゼミナール(科目責任者:押野修司)	2017.10~2018.1	「卒業研究」が円滑に進められるように、手引きの作成、ゼミ配置、卒業研究の進捗管理、卒業研究計画発表会の企画運営を行う。		

4	作業療法記録報告法(科目責任者押野修司)	2017.10-12	作業療法の記録報告に関する事項を学び、動画教材を用いて実際に観察した内容を、事実と考察に分けて記述できるように演習を行った。	
<b>(3)実習</b>				
1	基礎作業学実習(科目責任者:押野修司)	2017.10~12	臨床現場でよく用いられる作業について実習を行い、活動分析および作業分析を実施した。	
2	作業分析学実習(科目責任者:川俣実)	2017.11~12	実際に革細工による小銭入れ作りの作業実習を行い、作業実施に必要な道具、工程、要求される機能などの活動分析を実施した。	
3	発達期作業療法学実習(科目責任者:川俣実)	2017.5~7	情報収集、観察、面接、発達検査について講義し、子ども、保護者との関わり方を学生に示し指導し、観察記録の書き方についても添削、指導した。	
4	IPW実習①(科目責任者:市村彰英)	2017.8	学生が自らの専門性に気づき、また他の専門性を尊重し、4日間のケアプラン作成過程を体験し、チーム形成を学ぶ支援を実施した。(秩父地域)	
5	臨地実習Ⅰ-1(科目責任者:南雲浩隆)	2018.2~3	2年次生を対象に、3名の学生の身体機能領域の臨地実習指導を行った。期待していた以上の学習効果を得ることができた。	
6	臨地実習Ⅱ 科目責任者:(身体)臼倉京子、(精神)大橋秀行	2017.4~8	4年次生を対象に、身体機能領域(3名)および精神機能領域(4名)の臨地実習指導を行った。期待した以上の学習効果を得ることができた。	
<b>(4)論文指導</b>				
1	卒業研究(学部学生)	2017.4~2018.3	主指導:3年4名、4年6名	
<b>(5)その他</b>				
1	特定非営利活動法人 動物介在教育・療法学会 第10回学術大会、大会長	2017.11	大会長として、学術大会を運営した。	
2	「埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第8回学術集会」実行委員	2017.10	実行委員として、学術集会の準備～撤収に積極的に関与した。	
3	WEB講座「第9回 がん患者が『仕事を継続しながら生きる』ことへの支援」企画者	2017.10	テーマを決め、3名の執筆者を選び、執筆交渉、原稿のとりまとめを行った。	
<b>4. 社会貢献活動</b>				
<b>(1)講演会、研修会等の講師</b>				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	埼玉県発達障害総合支援センター主催「発達支援サポーター育成研修・レベルアップ研修、発達障害支援専門研修」の講師	埼玉県	発達障害児のための感覚運動遊び支援実践研修	2017.7月、11月
2	狭山市公立保育所巡回指導 指導者	狭山市	狭山市保育士研修巡回指導	2017.6月、7月、11月、12月
<b>(2)国、自治体、財団法人等における委員等</b>				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	一般社団法人 日本作業療法士協会	事例報告登録制度 一般事例A審査委員(主査)	2017.9~2019.8	
2	一般社団法人 日本作業療法士協会	日本作業療法学会 第5期演題審査委員	2018.1~2019.1	
3	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	学術誌編集委員会 査読委員	2018.12~	
4	日本リハビリテーション連携科学学会	学術誌査読委員	2013.4~	
5	一般社団法人埼玉県作業療法士会	埼玉作業療法研究編集委員	2003.4~	
6	特定非営利活動法人 動物介在教育・療法学会(ASAET)	理事、動物介在療法コーディネーター養成講座委員会	2015.11~	
<b>(3)ジャーナリズムでの発言</b>				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
<b>5. 学内運営(委員会委員)</b>				
1	地域産学連携委員会委員			
2	地域専門職連携推進部会部員			
<b>6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)</b>				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
<b>7. 特許の保有状況</b>				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	健康づくり支援システム	特願2017-156958	2017.特許出願中	

## 8. 特記事項

さいたま市、大学コンソーシアムさいたま主催「第7回学生政策提案フォーラムinさいたま」学生指導。チーム名:OT'ASH(おーていあっしゅ)(作業療法学科3年5名)題目:自分らしく生きられるさいたま市～「あいたまあぶり」でさいたま?からさいたま!へ～ を発表し、優秀賞を取得した(7年連続の入賞)。学生表彰に推薦し、表彰された(11年連続の表彰)。